

地 区	周防
第2層協議体	きらめきサポート周防
構 成	13名（地区社協関係者・コミュニティ協議会関係者・連合自治会長・民生委員、周防地区シニアクラブ会長）、第1層コーディネーター、地域包括支援センター職員
今年度の活動	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の情報伝達機能が不十分である</li> <li>・災害時の避難体制に地域差がある</li> </ul>
目 標	災害経験をもとに周防の災害に対する強みと弱みを知る。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難時の状況を振り返り、各々の立場で感じたことを共有し強みと弱みを知る</li> <li>・周防地区の支援体制について方向性を決める</li> <li>・第2層協議体の必要性和目的の理解</li> <li>・第2層構成団体の普段の活動と抱える課題の共有</li> </ul>
成 果	<p>平成30年7月に起こった災害時を振り返り、強みと弱みを話し合うことで「平常時から顔の見える関係性の構築」が地域の支え合い全てに繋がることに気付き、まずは非常時の対応を想定した平常時の見守り体制を整えることになった。</p> <p>今後は、要支援者と担い手側のマッチングと身体状況等の把握に向けた話し合いを行う。</p>

### 【きらめきサポート周防】の様子



毎月1回、地域課題の解決に向け熱い協議が繰り広げられています。



### 【災害時の振り返り作業】の様子

